

# 足立健康友の会

# かばら支部ニュース

第58号  
2013年5月16日  
☎: 3605-5594  
<http://kabara-tomonokai.kenwa.or.jp/>  
mail:kabarashibu@yahoo.co.jp

## かばら総会 参加45人

## 蒲原診療所50周年を 5年連続会員拡大達成で祝う

去る4月28日(日) かばらデイサービスで第12回友の会かばら支部総会が45人の参加で開かれました。



この総会では前年度に会員拡大目標を5年連続達成したこともあり、各報告者の中にこの話題が盛り込まれ、

「蒲原診療所創立50周年・蒲原歯科診療所創立30周年・記念式典・祝賀会」の模様も田中支部長はじめ何人かが発言の要所に触れていました。

来賓として参加した足立健康友の会千住西支部の大野副支部長は「日本政府が核兵器の非人道性から『不使用を求める声明』への署名を核の傘をとっていることと矛盾すると応じなかったことで、国連の場でブーイングが起きたこと。これは被爆者の怒りを買って、私たちが平和運動をしている者にとって許し難い。」と核兵器の廃絶運動を続ける決意を表明しました。

すこやか福祉会からは菊池雅彦専務理事が来賓として参加。菊池専務は「福祉関係施設を地域に作

って欲しいと言う要望は、出して欲しい。ただ社会福祉法人は健和会などの医療法人と違い、「法人債」と言う形の出資金を集められない。そのため施設作りは寄付に頼らなければならぬ事情がある」と法人の特徴を述べられ、社会福祉法人に対する理解を求めました。

足立公害患者会の池田國夫さんは「公害患者に対する助成制度により7万3千人が救済された。この助成の延長を求め粘り強い交渉と皆さんと署名運動を展開している。6月6日と7日に『全国公害患者総行動』があるので協力をしたい」と訴えがありました。

来賓あいさつの最後は都議会議員の大島芳江さんです。大島都議は「6月に都議選があり、7月には参議院選挙と続きます。アベノミクスで景気が良くなったと言うムードを盛り上げていますが、大もうけをしているのは一部の大金持ちと大会社のみで、私たちは年金が下がり、逆に物価と保険料の値上がりで暮らしが大変です。東京都では8700億円のため込みがあり、それを都民の暮らしに役立てよう共産党都議団として主張しています」と発言しました。

2012年度の活動報告は嶺岸事務局長が行いました。「小泉元首相が『構造改革なくして景気回復なし』と声高らかに演説したことを

覚えていきます。確かに弱肉強食社会の構造改革が進みましたが、景気は一向に良くならない。その様な感想を持つ人はいっぱい、いると思います。

先の総選挙ではTVでの政見放送で自民党の候補者が『T P P は絶対反対』と胸を張っていました。が、半年も経たないのに安倍首相は『T P P に参加する』ことを表明。民主党前政権の裏切り、今度自民・公明政権の公約違反があり、うんざりしている人も多いと思います。『安心して住み続けられる街づくり』をかかげる友の会としても政治の行方に関心を持ち続けたい」と話した後、各課題の進行状況を報告しました。



告が行われました。これは紙面の関係で次号でお知らせします。

12年度の決算報告は久保事務局次長です。久保さんは「会員の皆さんからの会費納入の協力もあり、ほぼ予算通りの決算になった」とことを報告。「予算上で余裕が出て来たので、これを有効に使って支部活動を活発に進めよう」と話しました。この決算報告の後、会計監査報告があり、13年度の方針案を小川務役員が提案、予算案は久保さんが提案し、満場一致で採択されました。

今年から新役員になった人は2人。また今まで副支部長が1人でしたが3人になり、清水事務局次長が紹介しました。

この総会には蒲原診療所グループの職員も参加して、それぞれ自己紹介して頂きました。



総会の最後は記念講演で健和会OB会長の牛山長重さんです。牛山さんは50年前の蒲原診療所の開院の時、現職でいました。その当時

の思い出と、みさと健和病院が設立された頃のエピソードを紹介して創立50周年記念の総会にふさわしい話になりました。

かばら支部役員会

4月13日三郷文化会館にて、脱原発をめざす、講演会がありました。参加者は蒲原から4名柳原発のバスが満員で、

## 地域から取り組もう 自然エネルギーの活用を

電車での参加者もでした。会場でのカンパの訴えには約7万円寄せられました。

宮崎協議会議長から、3・11震災と原発事故をきっかけに、エネルギー・環境問題が、地域ぐる

み健康で安全に住み慣れた町で暮らし続けるために、避けて通れない問題であるので今回の講演会開催に至った挨拶がありました。

産業技術研究所の歌川学主任  
研究員から、エネルギーと発電の現状、省エネの取り組みが重要であること、自然エネルギーの普及が、お金の流れや仕事を転換し、地域発展に寄与することにつながる等についてお話がありました。

又、環境ネットワーク埼玉の秋元事務局長からは、市民がお金を出し合って共同で太陽光発電所を設置する「市民共同発電所」が埼玉県内でもすでに2か所が設置

され計画中也含めると5カ所になります。設置したところでは売電もして自然にやさしく、採算も合うということ銀行も融資を認めネットワークが拡大しつつあるそうです。

そして、団地診療所の福田事務長からは飯田市の取り組みについての報告がありました。質疑応答では、東葛病院ですでに発電が実施され、問題がなければ、他院所、大規模施設へと、そして全施設へ拡大を予定しているとの報告もあ



りました。

帰りのバスではさっそく話が盛り上がり銀行からの融資も返済可能だし、千住第六小跡地に計画された防災施設にも自然エネルギーを

活用した発電施設の設置を提案しようとする案も出され、非常に有意義な講演会でした。

### 蒲原五〇年史を読んで 感想

蒲原診療所創立五〇周年と、齒科創立三〇周年おめでとうございませう。地域に永く暮らして来たなかで、いつどの様に蒲原診療所と関わり、友の会員になったのか、記憶も定かではありません。その中でハッキリしたものは二〇年程前脳梗塞の夫を、「みさと健和病院」で看取って貰ったことです。現在は私が大気汚染に依る公害患者として診療を受けています。歴代所長先生、また、友の会支部長はじめ大勢の方と関わり、その中で何人かの方を区議さんとして送り出しました。特に忘れられないのが、吉田万三先生が足立区長として当選した時の事です。院所の職員を始め地域の私達も本当に本心に全力を掲げての大選挙戦でした。この時、家の近くの内竹さんも「無党派の会」の一人として立候補し、彼は惜しくも落選しましたが、民医連の一人を当選させる事が出来ました。

公議員の汚い野次にまともな審議も出来ませでした。最後は百条委員会を持ち出したりして大騒ぎでしたが、再度の区長選の結果は残念でしたが、短い間で借金を返しながら、区民の為の施策に力を尽くされたのです。当時のお仲間の何人かが亡くなられています、千葉県市原市に転居した内竹さんご夫妻、清水扶佐子さんご主人の憲三さん、中川の友の会役員の栗本哲男さん、他、本当に残念です。今思い出しても遠い昔のような、つい昨日の事のような不思議な感じですよ。今は「友の会」のサークルや、お花見、歌声喫茶、保健講座、そして月一回の「下町の健康」の折り込みなど、お仲間の中に入れていただき楽しんでいきます。又、昔働いていた代々木病院のお仲間とも縁が続く、この足立でも皆ご健在で各々活動されてい

### 記念誌を読みましょう

今年には蒲原診療所が創立されて50周年になり、同じく蒲原歯科診療所が30周年を迎えました。それを記念して「未来へつなく地域との絆」というタイトルで創立記念誌が刊行されました。この小冊子は蒲原診療所と歯科診療所の歴史が触れられ、懐かしい職員や友の会役員さんがいっぱい出てきます。「写真が多くて見やすい」と好評を得ています。

ぜひこの機会に手にとお読みください。

この記念誌は診療所の受付にあります、友の会役員に申し込んで頂ければ、お届けします。 医科受付 電話3605-5594

1部500円です。



る事、心強く思い、あの当時色々教えられた事が、今役立って今の私があると実感しています。医療関係の方と友の会が車の両輪の様に協力共同する「民医連」と云う、世界にも誇れる組織、その一員であることを大事にしながら、今年も又、民医連の旗の下、青嵐の地を朱に染めて組合旗

平野 千世子